

## <白金標準先物、LBMA に続き LMMP もロシア精錬 2 社の認定削除・・・>



(出所：オアシス)

3 月に対ロシア経済制裁処置で外貨準備高の金の売却を抑える意味で LBMA（ロンドン地金市場協会）はロシアの貴金属精錬業者 6 社の認定を停止し、ロンドン市場でロシアの金や銀の販売が出来なくなっている。また週末には LMMP（ロンドン・プラチナ・アンド・パラジウム・マーケット）はロンドンの貿易システムに金属を配達するため認定されたロシア政府が所有する Krastsvetmet と PZCM の精錬会社 2 社をロンドン市場とスイス・チューリッヒ市場で取引できる精製業者のリストから削除している。特にロシアのノリリスク・ニッケルは世界のパラジウム生産量の 25%～30%、プラチナは約 10%を供給しているが、同社の精錬会社には今回の LMMP 認定削除の 2 社が入っている。ただ同社に近い情報筋は銀行への販売能力は制限されるが、事業の大部分を占める製造業者への販売は影響を受けないと述べている。しかしこの制裁処置で、PGM 市場の自動車触媒メーカーや宝飾販売会社は、ロシア産の PGM に対する拒否反応が強まり、南アフリカの PGM に対する購入意欲が強まる要因に繋がると見られ、南アフリカの PGM に対するプレミアムが上乘せされる可能性が高くなると予想され白金標準先物は 3800 円を下回る事は難しくなったと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げながら、**シグナル**との乖離を縮小し、RCI では**短期**が上昇し、**長期**も切り上げだすなどオシレーターは強気を示唆しており、日足は **40 日移動平均線**が位置する **3889 円**を上回りながら、4000 円へ向けた値動きが強まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,271,000 円(2022 年 4 月 11 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 4 月 11 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>